

羅針盤



2019年1月7日(月) 第71号

「人間は希望と創造の生き物である。この2つは、物事は変えられない、という考えが間違っていることを教えてくれる」 トム・克蘭シー（米国の作家（1947～2013））

生き続けるということ

元旦に大切な仲間を失いました。4組の横山めいさんが、交通事故により逝去されました。連絡を聞いた時は嘘であって欲しいと願いました。いまだに信じられない思いです。穏やかな笑顔ばかりが思い出されます。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

私は、小学生時代、ひどい喘息持ちで、年間の欠席日数は毎年40日程度だったと思います。同じように、ひどい喘息で苦しんでいたA君という幼馴染がいました。中学校に入学して同じクラスになりました。部活動見学が始まった時、彼は私にこう言いました。「俺、学校の先生になりたいんだ。先生は休んでいられねべした。だから体も丈夫でねえとだめだと思うんだ。だから運動部に入って体鍛えようと思うんだけど、慶徳君はどうすんの？何部に入るの？」それに対し私の返事は「A君すげーな。俺はどうすっかな」というようなものだったと思います。将来をしっかりと考えているA君が、すごい立派に見えた一方、何も考えていない自分を恥ずかしく思ったことをおぼえています。彼は剣道部に入り、練習に励みました。私は一週間バスケット部を覗いてから、結局は美術部に入りました（その後、先生に誘われてコーラス部と兼部することになり、音で表現する楽しさを知りました）。その年の10月下旬だったかに校内マラソン大会がありました。折り返してからA君に追いつき、「ガンバ」と声をかけて追い抜きました。その後、彼は倒れ、病院に運ばれましたが亡くなってしまいました。心臓麻痺だった、と聞いたように思います。クラス全員で告別式に参加し、彼に「君の分まで俺がんばるからな」と約束しました。

その日、帰宅しても半ベソをかいていた私に、父が「A君のこと忘れんなよ。そしたら、A君は芳夫の中で生き続け、きっと助けてくれる。」というようなことを言いました。私が「教員って、いい仕事だな」と考えるようになり今も教員でいられるのは、心の中で生きていた彼に導かれ、叱られ、励まされたからだったと思います。A君は私の中で生き続けているのだと実感することがありました。誰かの死に接するたび、父の言葉も思い出されます。どちらも私の中で生きているようです。

友人の死を現実のものとして受け止めるのには、もう少し時間が必要かもしれません。でも、決して忘れないでください。そして、ひとり一人が自分の人生を精一杯生きましょう。それを彼女も望んでいるはずです。

（学年主任 慶徳）

☆「毎月のことば」に、みんなの羅針盤となるような言葉を探して紹介しています。今回は、勝負の年を迎えた 17 期生諸君に、「1 月のことば」とは別に長めの言葉を紹介したい。

夢のある者には希望がある。

希望のある者には目標がある。

目標のある者には計画がある。

計画のある者には行動がある。

行動のある者には実績がある。

実績のある者には反省がある。

反省のある者には進歩がある。

進歩のある者には夢がある。

吉田 貞雄（寄生虫学者 / 1878～1964）

（武士で、明治期の官僚や実業家として国立銀行や様々な企業の設立に関わった
渋沢栄一（1840～1931 年）にも、同様の名言があるようです）

1月	曜日	行事等	週末課題等の予定	朝学習
7日	月	全校集会・課題テスト	冬期休業中の課題	
8日	火			英語
9日	水			国語
10日	木	(40分授業×6校時)		総合
11日	金			英語
12日	土		国・数・英	
13日	日			
14日	月	「成人の日」		
15日	火		国・数Ⅱ・英提出	英語

◇1/18(金)～19(土) 進研記述

*1/19～20は先輩たちが「センター試験」を受験します。ほぼ同じタイミングで記述模試を実施します。1年後を、しっかりイメージして受験しましょう。

◇1/25(金)～26(土) 全統記述（学年カレンダーでは26日のみになっていますが2日間です）

◇2/22(金)～23(土) 進研マーク

*センター試験タイプのマーク模試を初めて受験します。